

高松市立 みんなの病院

基本理念

生きる力を応援します

基本方針

- 1 『リーディングホスピタル』として、高松市医療全体の最適化を目指します。
- 2 『安全で良質な医療』を、ファインチームワークで提供します。
- 3 『まごころのある医療人』を、全力で育成します。
- 4 『地域とのつながり』を大切に、みんなの暮らしを支えます。

地域医療連携だより 3月号 第4号



診療科紹介 耳鼻咽喉科

いつも大変お世話になっております。日頃より患者さんを御紹介いただきありがとうございます。2018年9月に仏生山町に新築移転して以後、患者さんの増加により診察までお待たせしていることを心苦しく思っています。その分、懇切丁寧な診察を心がけていますので、ご了承ください。

診療体制

	月	火	水	木	金
午前	2診体制	2診体制	2診体制	1診体制	2診体制
午後	1診体制	検査他	1診体制	手術	手術

- 火曜日の午後は各種検査や手術前の病状説明などの予約診療となっております。
- 扁桃周囲膿瘍、急性喉頭蓋炎などの急を要する疾患は適宜連絡をいただければ、対応いたします。



治療方針

急性期疾患 鼻出血、喉頭蓋炎などの生命に関わる疾患、及び感覚器官（副鼻腔炎による眼症状など）に影響する疾患に対して、保存的治療のみだけでなく、手術的な治療も併用して患者の満足度を上げます。

外来日帰り手術 軽度な副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、扁桃周囲膿瘍、滲出性中耳炎などの手術をすすめていきます。

その他 唾液線疾患、声帯ポリープ、突発性難聴、顔面神経麻痺、めまい疾患など多様な疾患にも対応しています。

慢性期疾患 慢性副鼻腔炎、慢性扁桃炎、甲状腺腫瘍などの疾患に対して積極的に手術療法を勧めていきます。手術的治療を拒絶する患者さんも存在するので、その人たちに対して保存的治療も提供できる体制づくり（具体的に副鼻腔炎に対する副鼻腔洗浄、慢性中耳炎に対するブロー液治療など）を確立しています。できるだけ短期間で診断がつく診療体制：超音波診断、穿刺吸引細胞診、針生検、内視鏡下生検などをすすめていきます。

診療科紹介 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科の守備範囲は首から上、脳と眼球を除く部分で耳、鼻、口腔、咽喉頭、頸部、顔面とかなりの広範囲です。特に力を入れている分野を書き出します。

難治性耳漏

ブロー液治療を施しています。これにより数年間、耳漏に悩んでいた患者さんが完治し、喜んでいただいた例もあります。

慢性副鼻腔炎

ナビゲーションシステムを導入しており、より安全に手術ができます。

アレルギー性鼻炎、花粉症

アルゴンプラズマ凝固装置を用いて日帰り手術をします。特に鼻閉に悩んでいる患者さんにお勧めです。

舌下免疫療法

スギ花粉症、ダニによるアレルギー性鼻炎に対して、施行しています。改善率が80%と良好ですので、薬でコントロールがつきにくい患者さんには積極的に勧めています。

❁ 私が赴任してきて感じますことは、他診療科との垣根が低いことです。いろいろな事を他科の先生より教わりました。これを患者さんに還元するのが私の努めと思っています。時代を反映して高齢化がすすんだため、嚥下機能障害が増加してきております。院内の嚥下機能チームと連携し、嚥下内視鏡をすることが増えてきています。このように各診療科との関係が非常にうまくいっています。

耳鼻咽喉科の外来診察は処置および機能検査が多いです。例を挙げると脳波聴力検査（ABR）、語音聴力検査、顔面神経誘発筋電図検査（ENoG）などきりがありません。後日になってもきちんと検査をして報告申し上げますので、遠慮なく依頼してください。

外来、入院診療とも一丸となってがんばっております。いたらぬ点もあると思いますが、懇切丁寧な診療に邁進していきます。御支援よろしく願いいたします。

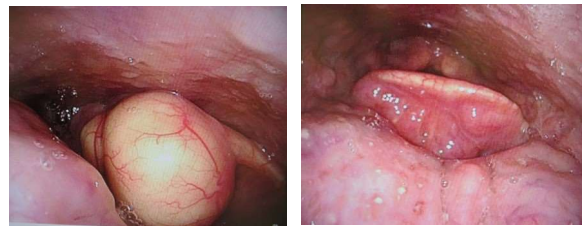
（文責 近藤 昭男）

口蓋扁桃、アデノイド疾患

扁桃炎による咽頭痛、発熱を繰り返す症例やIgA腎症、掌蹠膿疱症などの病巣感染や上気道狭窄によるいびきや顎顔面発育の影響がある症例に対して口蓋扁桃摘出術を施行します。さらにアデノイド増殖症を伴っている場合には従来はアデノイドを完全切除できなかったのを、当科では内視鏡を使用してアデノイドを徹底的に切除します。

甲状腺疾患（主に腫瘍）

当日に超音波検査を施行し、ある程度の診断まで出します。必要に応じて細胞診検査、甲状腺ホルモン検査をします。



喉頭蓋のう胞術前、術後

薬薬連携の会



当院では保険薬局との連携を図るため薬剤局が中心となり「薬薬連携の会」を定期的に開催しています。医師から疾患について勉強した後、グループディスカッションと各グループの発表を行い参加者と情報を共有し、また、交流を深めています。テーマは、「薬剤と症例について」「入院時、退院時の情報提供について」「実務実習について」など身近なテーマを選んで開催しています。